

もくじ

- 02 まちの話題
- 04 特集1 防犯意識を高めよう
- 06 特集2 秋開始接種のご案内
- 07 特集3 自殺予防週間
- 08 多久市からのお知らせ
- 11 まちのPickUPインフォメーション
- 13 あじさいへ行こう！
- 14 教育委員会だより
- 15 市長コラム
- 16 健康ノススメ
- 18 おたっしゅだより
- 22 Hi! POSE ほか

7月20日[Thu]

公立佐賀中央病院建設工事の安全祈願祭



▲建設工事の安全を祈願し挨拶する横尾管理者(多久市長)

令和7年3月に完成を目指す「公立佐賀中央病院」の建設工事に先立ち、工事の安全を祈願するため、施工業者主催による安全祈願祭が多久市東多久町の建設予定地で執り行われました。

当日は横尾俊彦多久小城医療組合管理者、江里口秀次副管理者をはじめ、多久小城医療組合議会議員、地元の方々など関係者約50人が参列し、工事の安全と無事完成を祈願しました。

7月20日[Thu]

真生工業の中島さんが多久市に寄付



▲中島さん(右)から横尾市長(左)に目録が手渡されました

真生工業株式会社代表取締役社長の中島功さん(多久町)から1,000万円を寄付いただきました。

寄付金受納式で中島さんは「これまで事業を続けてこられたのは地域のおかげ。生まれ育った多久をさらに良くして行ってほしいです。次世代を担う子どもたちのためにぜひ活用してください」と思いを託されました。

横尾俊彦市長は「コロナ禍ではマスク不足の折に3万枚ものマスクを贈呈いただき、大変助かりました。今回いただいた多額の寄付は子育てや教育に活用させていただきます。本当にありがとうございます」と謝意を述べました。

7月21日[Fri]

給食センター1日体験



▲良い香りに包まれながら、大きな鍋でカレーを混ぜました

夏休み初日、多久市学校給食センターで「給食センター1日体験」(主催：一般財団法人多久市学校給食振興会)が4年ぶりに開催されました。

市内義務教育学校の5年生が対象で、31人が参加。地元の食材をたくさん使った夏野菜カレーや焼とうもろこし、ゼリーを作りました。

多久市学校給食センターの陣内紀朗所長は「体験を通じて給食の仕組みや旬の食べ物のおいしさを知ってくれたら嬉しいです」と笑顔。体験した田中晴翔さん(中央校)は「母に勧められて参加しました。特にゼリーを作るのが楽しかったです」とお手製の給食を食べながら感想を話されました。

今月の論語

夫子之道、忠恕而已矣。

夫子の道は忠恕のみ

出典：里仁第四

孔子様は、自分を尽くして人を思いやることに一貫していた。

今月の帰宅放送は、東原彦舎東部校9年の田淵 櫻和さんです。

